

10月第3週(10.10~10.14)

NO.211

川崎市からのお知らせです。

今週は15日の土曜日開催される「多文化フェスタみぞのくち2005」のご案内です。

この催しは地域に暮らす障害のある人や外国人、子どもや高齢者などさまざまな立場の人たちとそれを支援する人たちが集まって「お互いの理解と友情で育まれた多文化と共生のまちづくり」を目指す、市民の自主企画事業です。

内容は外国の音楽・ダンス、沖縄の音楽・踊り、和太鼓、ロックソーランなどの多文化ステージやフィリピン、中国、韓国朝鮮、ブラジル、中南米など各国料理の屋台、地域作業所やボランティア団体の製品販売コーナーなど多文化と共生のフェスタです。

会場はマルイファミリー溝口店のあるノクティ2の屋上、10月15日土曜日午前11時から午後3時開催です。

入場無料、お気軽にお立ち寄りください。

「多文化フェスタみぞのくち2005」に関して詳しいことは、高津市民館 社会教育振興係までお問い合わせください。電話番号は044-814-7603まで

川崎市からのお知らせでした。

10月第4週(10.17~10.21)

NO.212

川崎市からのお知らせです。

今週は「麻生の道 彫刻展」のご案内です。

川崎市では、「花と緑でイメージアップしよう」と緑の景観事業を推進しています。「麻生の道 彫刻展」はその一環として小田急線新百合ヶ丘駅に近い麻生区の吹込交差点周辺をオープンギャラリーに見立て、彫刻を展示しています。

彫刻は恒久的に設置するのではなく、1年ごとに作品を入れ替え、野外彫刻を不特定多数の人に楽しんでもらう仕組みになっています。

今回、2006年3月21日まで展示されているのは5作品です。武蔵野美術大学修了の山崎 隆氏

の作品でオオムラサキの植え込みに設置された大理石、作品名「航路」。多摩美術大学大学院 修了の  
中井川 由季氏の作品でサツキツツジの植え込みに設置された陶器2点組、作品名「道に沿って行く」。  
日本大学芸術学部卒業の海崎 三郎氏の作品でスチール製の平板2つを組み合わせた、作品名  
「ROVER 05-1」。多摩美術大学卒業の吉川 陽一郎氏の作品でユリノキの街路樹の間に設置さ  
れた鉄筋の柱に合成樹脂のシートを巻きつけた、作品名「彼方へ trans-」。筑波大学大学院芸術  
研究科 修了の国安 孝昌氏の作品で街路樹のユリノキに丸太を組み合わせ設置された大小6点組、  
作品名「麻生の鳥の巣としるべ」以上の5作品です。

なお、本作品展示期間中の11月20日の日曜日には出品作家によるオリエンテ-リングが開催されま  
す。

詳しくは 環境局緑政課 電話044-200-2399まで。

以上川崎市からのお知らせでした。

10月第5週(10.24~10.28)

NO.213

川崎市からのお知らせです。

今週はかわさき市民祭りのご案内です。

今年で第28回目を迎えるかわさき市民祭りは11月の4日・5日・6日の3日間、川崎区の富士見公園  
一帯で開催されます。

かわさき市民祭りは、毎年約50万人の人でにぎわう、市内最大のお祭りとして、これまで多くの市民  
によって支えられてきました。

今年も総数300店という日本最大級の大バザールや全国25市町村の物産展のほか、2日目の5日土  
曜日には川崎駅まで全長1km以上も続くパレードが行われます。ステージでは、初日のカラオケ大会  
から始まり、2日目には今年初参加のかわさき舞祭実行委員会が子どもたちによる「E-JUNC  
DANCE」を披露してくれます。また、川崎区で大好評の「いつでも誰でもコンサート」も行われます。

川崎市には、歴史的に多くの外国人が移り住み、そして多様な文化を育んできました。国際交流コーナー  
ではそんな各国の文化の一端を垣間見ることができます。民族衣装の試着や、民族舞踊等は毎年大好評  
です。

その他、川崎フロンターレ市民後援会の協力によるサッカー教室など大人から子どもまで楽しめる  
イベントがたくさん開かれます。

詳しくはかわさき市民祭り実行委員会事務局、電話200-2308へお問い合わせください。

以上川崎市からのお知らせでした。